

アートって何だ!

アーティストの表現の場の1つであるギャラリー。その中で一杯の空間作りを数十年積重ねて来た。この事で自分を上げて来た。ここに来て、昨年の3.11の災害は今までの築いたものを根底から取り崩されるような衝撃を体にも心にも受けた。アーティストが何をすべきかと言うよりも、ま

ず人間として何をすべきかという言葉が突付けられた。あの日以来、今日まで思いつくまま様々な義援活動をしてきた。そして本来の自分の仕事である個展が近付いた。私は今回の空間作りにあつた一つの思いを自らに課そうとしている。止むに止まれぬ事として。

もう1つ。SARPと同じ一週間、ギャラリーを飛び出す事もする。

津軽三味線奏者(作曲者)など多くの方々の協力も得られて、うれしい。最終日27日(日)夕刻、町の文具店(幸洋堂)にて朗読会を行う。その後SARPに移動してクローズイングパフォーマンスを。スイングパフォーマンスを。又この一週間のうちいつか、元気広場であったり、町中里広太のパフォーマンスの世界を垣間見る事にもなる。どうぞ皆様、このワクワク一週間をぜひ体験して下さい。

5/27

27日(日) PM 7:00 ~ PM 9:00
<クローズイングパフォーマンス&パーティー>
 (言葉+音+ダンス)+ギャラリートーク+パーティー
 ・ダンスパフォーマンス-千葉瑠依子
 ・サウンドデザイン-中里広太・総合演出-翁讓
 ※入場無料
 連絡先 翁讓 080(5443)3363

SARP クローズイングパフォーマンス/幸洋堂朗読会 出演者プロフィール

- 小野 越郎** (津軽三味線 演奏家/作曲家) 白石市在住 津軽三味線を山田千里師に師事。青森県は弘前にて修行を積む。劇団わらび座にて、三味線奏者として数々の舞台で国内・海外公演に参加。03年より独立し、古典を中心にオリジナル曲も取り入れたソロ演奏の他、作曲・編曲も行っている。尺八・ドラムとのユニット『櫻』(はんそう)で演奏活動を行い、06年に1st CDをリリース。また、和楽器奏者の木村俊介氏と2人でライブ活動を行い、津軽三味線と篠笛の新たな世界を作り出している。09年 CD『DUO』をリリース。2011年から2012年にかけて、ポルトガル、イギリス、デンマーク、その他、多数の国における音楽祭などに出演する。09年第3回邦楽グループコンテスト・最優秀賞受賞 11年第7回桂座音楽賞・グランプリ受賞
- 中里広太** (サウンドデザイナー) 仙台在住 1983年仙台生まれ。宮城教育大学で学ぶ。大学時代には、多数のLIVEを経験する。2007年身体表現と映像作家ヒグマ春夫氏との映像がコラボした作品へ、音響として参加した。それ以来、即興で表現することの楽しさ難しさを体験することで自分の道を模索し始める。その後、ダンス・演劇・映像などのコラボレーション舞台を数多く経験する。また最近では、ピアノ・サクソフォーンなど、音楽家とのライブも行っている。2008年 鎌倉・円覚寺境内(水と空気の変容展)参加 2009年 越後妻有アートトリエンナーレ参加 2010年 会津漆の芸術祭参加 登米アートトリエンナーレ参加 2011年 アート@つちざわ参加
- 千葉 瑠依子** (ダンスパフォーマー) 仙台在住 1985年岩手県生まれ。5才からモダンダンスを始め、踊ると元気がでるからになる。宮城教育大学に進学し、里見まり子氏(即興舞踊家)・榊原光裕氏(音楽家)に出会い、仙台市内で了され舞進中。現在は、仙台市にて“外”“街中”“酒蔵”と踊り歩いている。“自分で自分の心とからだをメンテナンス”を合言葉にダンスだけにどまらない、からだのワークショップも展開中。宮城教育大学非常勤講師、ARC>Tメンバー。
- 翁讓** (彫刻家・空間演出家) 埼玉県杉戸町在住 1947年彫刻家翁朝盛の二男として、宮城県仙台市に生まれる。1988年宮城美術大学彫刻科卒業。1988年宮城県芸術選奨受賞(1987年度)1971年から今まで東京を中心に全国各地で数多くの個展、グループ展、美術館企画展に出品、展示する。又、1975年から、芝居、モダンダンス、パフォーマンス、ファッションショー、朗読などの空間演出も多数手がける。2009年から杉戸、宮代にて町との関わりを持ち空間を考える。
- 研生 英午** (俳人) 千葉市在住 17才より詩を、18才より俳句を書き始める。最近では地域の風を書き始める。テーマにした自作の詩や環境をテーマにした自作のテキストを現地に赴き、東京、埼玉、千葉、沖縄等で朗読して来ている。埼玉では2010年から2011年にかけて、「流れの青野」を題材とした「流れの青野」「めぐる春日」「街道(みち)」を朗読した。現在、詩・歌・句・美の共同誌「鹿首」編集人。著書の句集「水の痕(あと)」(沖積舎刊)等。
- 矢口敦子 志茂恭子 出雲直美** (仙台朗読奉仕の会) 仙台在住 視覚障害者への朗読奉仕活動をしていきます。文字情報をテープやCDに録音し、対面朗読や訪問朗読にも伺います。奉仕員養成講座を同期で受講して以来あととして四半世紀です。

翁讓の<一週間SARP> - GAREKI -

AM11:00~PM7:00 ※最終日はPM9:00まで
 仙台アーティストランプレイス SARP
 〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1~12~7 門脇ビル1F

一週間SARP 2012年5月22日(火) ~ 27日(日)

一週間荒町 南鍛冶町

地下鉄五橋駅 東二番丁通 ↑ 至 仙台駅

市立病院

幸洋堂 営業: AM9:30~PM6:00 無休

面白店主と面白文具

Rai◎ ダイニングバー 営業: AM11:30~PM12:00 無休

あある路地 水の道

及川酒店 時間: 月~土 日祝 無休 AM9:00~PM8:00 AM10:00~PM7:00

おいしい酒造

西川玉林堂 営業: AM9:00~PM6:00 第1,第3日曜休み(27日休)

仙台御筆、こだわりの書道用品店

宝古堂 営業: AM9:00~PM7:00 無休

古いっていいね 古書と骨董

三陽山 泰心院の門(仙台藩の学問所、養賢堂の門)

竿政 仙台竿 凧として

満福寺 荒町の守り神 毘沙門天

泰心院 素晴らしい板壁

南鍛冶町

嘉藤金物店 営業: AM8:00~PM6:30 日、祝休み 生活のお助け店

焼鳥ちえらっ鳥

うまい焼鳥、おでん

大銀杏あり、三宝大荒神

仙台南鍛冶町 今に技術を伝える 門閥筆管店 仙台筆管店

「幸洋堂朗読会」 (文具と翁讓の作品の中で) 27日(日) PM 4:30 ~ PM 5:30 幸洋堂: 仙台市若林区荒町121 TEL: 022(266)3331 FAX: 022(266)3339 HP: http://ko-yo-do.co.jp/ 料金: 1000円(小学生以下は無料) 定員: 30名 要予約 連絡先 幸洋堂 翁讓 022(266)3331 080(5443)3363

佛眼寺

森民酒造本家 営業: AM9:00~PM6:00 土日休み 味わいの蔵

和の心あり 奥江呉服店

荒町第三町会 荒町ふれあいセンター 翁讓の写真展示あり。

荒町の絆

奕葉山 昌伝庵 歴史に培われた名刹

仙台南鍛冶町市民センター 開館時間: AM9:00~PM5:00 23日(水): 作品2点の内1点が置いてある娯楽室は入室禁 町民のいこの場

B-Ark pool 楽しいサロンの可能性あり

元気広場

「場所」に何かがあるかも...?

翁讓の<一週間荒町・南鍛冶町> (仙台荒町と南鍛冶町、おのある19ヶ所のある場における作品空間) 時間: 各展示場所に記載。記述の無い所はいつでも見られます。

公演内容

- 『荒町の昔を語る』 「あらうんどあらまち 荒町界隈物語」収録 (若林区役所仙台市民センター発行) 故山田仁策さんと故佐藤重雄さんの対談
- 朗読: 研生英午 矢口敦子
- 演奏(キーボード): 出雲直美
- ダンスパフォーマンス 千葉瑠依子
- 『街道』 研生英午 作(詩・組行俳句) 朗読: 研生英午
- 演奏(津軽三味線): 小野越郎
- 彫刻・総合演出 翁讓